



Title	特殊講義案 都市と村落 (1)
Author(s)	鈴木, 栄太郎
Issue Date	1966
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77353
Type	manuscript
Note	資料作成年不明 (システムの制約のため、発行日には没年を入力した)
File Information	N042_011.pdf



[Instructions for use](#)

COLLEGE NOTE

MADE BY HITSUBASHI NOTE CO. LTD.
USED SUPERFINE FOOLSCAP MANUFACTURED IN JAPAN

① 特殊講義案

都市と村落

II
(1)

¥25.00

奥井復五郎「現代大都市の形成」

力三喜よ 村落及び都市の

社会構造と其の

都市を位置地、商業地、工業地

等へ区分し各地の特色の相異を明らかに

即ち地域の構成論

するは従来の都市研究の必要を一

部門を包摂した。地理学に於ては

都市研究の中心として認められる。

この一書はアメリカの都市は中心地

域を形成し、その外、相互に同心円の

環状地帯を形成し、これを述べた。

1. Central business district

2. Zone of transition

Burgess, E.W.: The Determination of

死亡率

Gradients in the Growth of the

City, Publ. Amer. Sociol. Soc., 21
(1927) 178-184

3. Working class zone

4. Middle class zone

5. Suburbs and urban fringe p. 283

これは比率的に重要なポイント

この2つの可憐な社会構成を示して

示す。それは都市の区画の所による

の社会政策の量的比較を示して示す

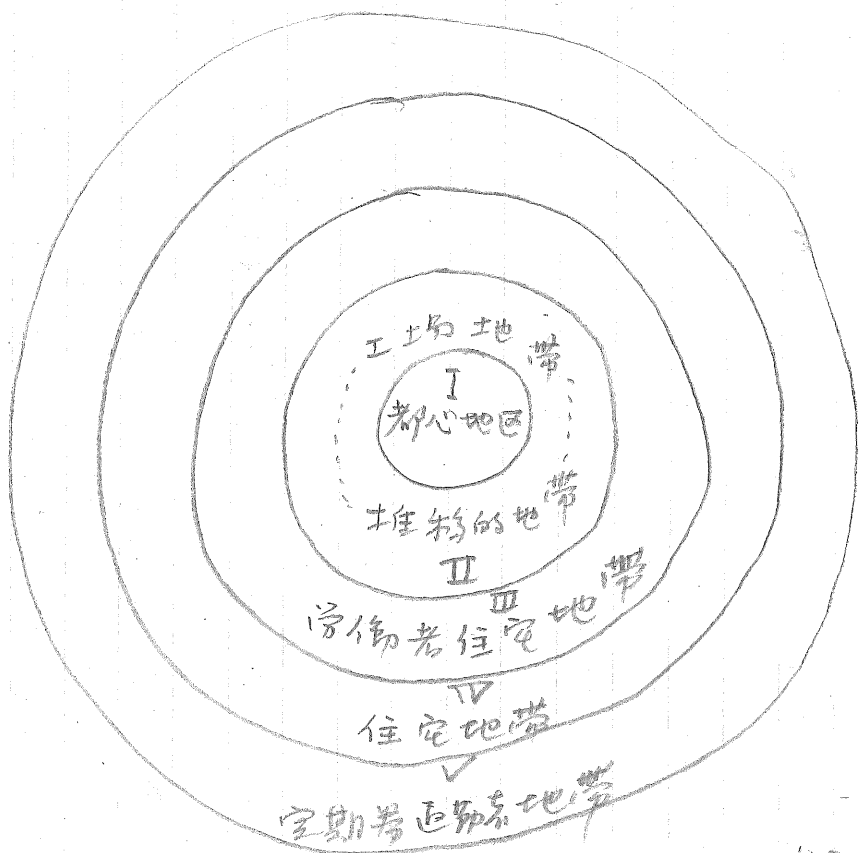
の2つである。(a) 人に定額、^(b) 一世帯^(c) 一世帯^(d) 一世帯の%

(c) 貧民窟住居の% ^(d) 家賃収入の%

(e) 白人の% (f) 男女性比率 (g) 死亡率

(h) 少年犯罪率 (i) 移住率 等が

都市を述べている一地域の地域に



奥井氏「現代大都市論」二五五

E.R. Burgess の定型ば

如何に設置し、片の存在を示し、片。

此の中心部の考え、中心部多分、中心部

層、片の、は、あるか、従来の

都市、^{地域的構成}、^{元々ある}、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

この都市区、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

今の構成、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

これは、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

とは全く縁の、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

又、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

構造的、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

右、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

法、^{中心部}、^{中心部}、^{中心部}

Böcher, H.: Jambucke, eine
Gehirnpolizei, ihr Leben
und ihre Entwicklung (1928)

の集合す。地には距離、交通網は重要
な役割を担う。政治系統の解き直し
は、^{（その）} 地方自治、地方自治と並んで
とよみ、^{（その）} 地方自治と並んで
政治系統としての中央集権の道に
は、地方自治は都市の統一性と
に於ける地方自治の統一性と
は、地方自治、これは地方自治の
道とは縁なきものである。
吾人の政治系統は、地方自治の
や政治系統的な地方自治の統一
による集合は、一つの統一性
を有する。

政治的統一を達成する場合、かくの
如く、構成の材料を準備するもの
である。

此は、吾人の政治構想の各部分にたい
しては構成要素として各段の諸国
と定型的な諸国とは何となくある
ものがあるし、それは、定型的な記

号諸国は、それと集團との間に
概しては存在しないが、諸要素をそれ
の間に多くが、主として、認識の操作
における後述の諸集團の統一の
開始をゆがみ、それより始まる。

是れ又、此のモカクの如き大佛の掃地の輪廓は即ち此にに似て、さか平明な本

如く、此の如くありてあり。

持たる及び、都市に於いて、此の如くは如何なるものか。

は、此の如く持たるの社会構造の素材となつ

て、此の如くは次の十種の集團に於いては、此の如くと存する。一、行政の地塊、

二、氏子、檀越、近隣、清中、

三、経済的、血縁、共同利害、

四、官能的、階級、

五、何れも持たるは、此の如くの十種の集團より、

成るものとあるものはない。何れも

宗家地位
経済的に苦慮、名譽と地位を義理の共同遷葬、他人
の活知に宗柄の制限あり。

新會に任他人學位、即ち其以其人の實力才が決定。

後兵、勤王と學問が他人に新能す。

時を待たず、一限り有つた種以外の

集團は存在しない。宗族は右の十種

の集團の中の血縁集團の中の社会

の存在しない。其の宗族は世に在り

る社会生活の場、位である。右の十種の

集團は、其の社会を構成するもの、は

他人とはなく、宗族であり、宗である。

親戚の生活に於いては父も母も、其の印

として、宗を代表して居るものである。

故に集團の取柄に於いては、宗族は、

最も基本的集團として他の集團と

同様に置くことは出来ない。日本の

並存す

村落は皆、基礎的に宗社なるもの

構成され、その中心にあり、あるもの。かくて

宗社を一つの独立体、又は一人としての存在

をも、かくの如く、人が統一の集団を

構成して居る。と、これをの集団(丸)は

も、村のものがあふ、里村並に生活

の(地境)内、片位や新地を共に地域の

に限定する、片の(集団)の

地域の上、組織して居る。組織的

統一と、知と、ものを身へ、し、あ、あ、あ、が、

かくの如く、組織的統一、は、あ、あ、あ、の

物、今、三、重、は、た、り、一、統、を、行、し、て

殺人犯人の重収字責、

執罪

三種の集団組織の

片。その地区を小なりよりの組織に

第一此の地区を第二此の地区を第三此の

地区を第四、片。各地区毎に集団が

組織して片。此の組織の階級の

中に此の片。第一此の地区

は第二此の地区の若干を合す、第二

此の地区は第一此の地区の若干を合

す、片。各地区毎に集団組織

の仕方は一様でない。第二此の

地区には最も多く集団が組織して

組織の仕方同様に其の組織を階級

とし、組織の統一を求むる片。又、

なく、其範圍内は純然と經濟的
知の比較的封建的獨立性自主性
が認められる。即ち此等範圍内の一
里の他視地として生活法知のあり中
より即ちなる不徳性條約の整頓俾か
るより多量なり、此等範圍内は相互
拘束の範域も是るに存して居る。
新加坡 ~~村~~ 自然村の許に在りて
片一の以上の勢に於て地國の純然と
統一である。是れが日本の屋敷を
村として居る。

次に
都市には、どんな集團が存するか。
あうか。

都市の生活は、^{経済}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

都市の生活は、^{把東}一足か、^{把東}後継に
あうか。

② Grit ↓ - William Parvathy

P. 280, 1284 H. Komarovsky が

1910, 1923, 1928 の研究によつて

20 年間の間にこの調査は

子供と大いに関係が深まる

高小、高小、中等学校に於ては

尤、この教育者はこの調査

及び御座る子供の上流の者から

の間に保つて置かれた。又その

調査は 38% の調査結果の 60%

は 33% の調査結果 (performance) の 21%

は 15% の調査結果に於ては

Komarovsky, Mishra, "The Voluntary

Association of Urban Dwellers"

American Sociological Review,

11: 686-98 (December, 1946)

泡きく

あつた。尚し客観的に客観的関係の

ついで彼の友人をかけた。この上、彼の

所居を関係の彼の意外に少い。この

多量くである。又彼の一日が毎々如

常の生活の中を過す。これは、^{可なり}申したる

は、その生活の余り、^{高量な}ものである。

くである。

同じ性格を友人である一人の市民

について試みて同じ性格を

である。此の一人の市民

自分自身について考へた場合、^{自分の}家

の一人として考へた場合、^{自分の}友人

① 其正常なる市民の正常なる生活と云ふ
 事もの明に方針の端緒を見出さな
 いは、都市住民の轉移した生活の端々
 方針もゆすしと不可解なる事を知りてあり。

同様の結果を之と云ふ。

かくして一定想像するに都市の混亂は都市

の正常の正帯の生活より現はれし

の正帯は

けれども村落の生活に比して是れ農村は

都市に比して有明いかなるし此強と云ふ

に近い。家族も都市に於けるもの

村落のそれと形勢に於けるは

いふは村落も異なる事。

都市に於ける正常なる市民の所屬する

集團は凡そ如何なるもの

一は又一年の生活の事と云ふ

正常なる

仔細に

の正

注：放逸協會編「日本人の生活形態調査」

予照

2. ゲテラスの place, work, folk, の公式

地方の生活形態を調査する
目的の目的

事から始まるからけられたらぬ。

正徳

まゝの如くはなす。正徳人の生活の型

即ちおん可成である。

を越えてきた年頃の如く。男女の性

別によつて其の性格が異なる。老人

片の生活の大なる型は容易に

没定する事がある。幼少は家庭に

昔少年は学校に、又青年は職場

に老人は家庭に、婦人は大に家庭

主婦としての家庭に少くは職場に。病

下等生

田舎人は其の若し

人や白癩などの病は皆それとなく

一定の

病気が

す可き一山の深きを討つ。即ち一

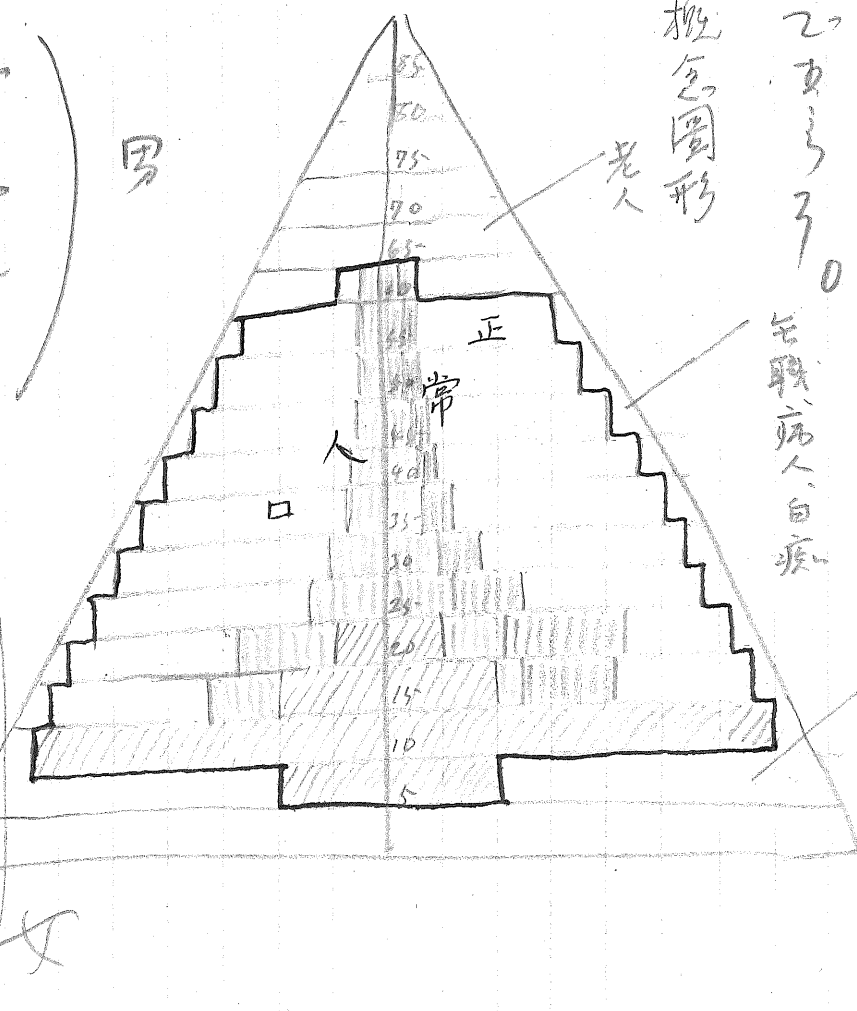
日の必要の時分を過す場所を伝へ

は大抵に定まるとす。就ては

〇わが国特有の存在である
 構造を明らかにする

- A 小高工芸系
- B 給料生活系
- C 学生生活系
- D 幼児老人

- a 職業婦人
- b 主婦(Aの層)
- c 主婦(Bの層)
- d 学生生活系
- e 幼児



先づ
 中の上層人口の増殖は
 予見の如く同系
 予見の如く同系
 予見の如く同系

第2の場合 A と B は何れも有職者

である。A は宗座を職場とし B は職

場を宗座外に持つ。若し生活は宗座に

対応は宗座内。婦人の場合は宗座

外の職場も、又は宗座に有職場

とせば宗座内、これはおれに。

このおれは宗座内、これはおれに。

市民が毎日の暮らし生活

の要する所は、職場やおれが宗

座内である。職場とおれと宗座は市

民の生活の場所である。これは又

互れくの集団である。即ち職場

集団、おれが宗座である。然し

この集団

都市先河に於ける最も基礎的集團

は以て三統の集團に於ける最も統一。

此三統の成員も單純な組織を構成

せしむるは当然である。宋^統統也

都市に於ける最も基礎的集團に於けるものは

新統に於ける最も基礎的集團に於けるものは

最も統一の最も基礎的集團に於けるものは

最も基礎的集團に於けるものは最も基礎的集團に

於ける最も基礎的集團に於けるものは最も基礎的集團に

於ける最も基礎的集團に於けるものは最も基礎的集團に

於ける最も基礎的集團に於けるものは最も基礎的集團に

於ける最も基礎的集團に於けるものは最も基礎的集團に

この職域をなす。に物事をし。

宗族と学校と甲斐場とは市街の

市民が一口の休三三の所をいふは

で遊して居る場所として取り出され

て来るといふが三三の中の子

はどこで遊ばれて居るのか。それ

は物と一人の市民たるの睡眠と

安眠の場所として定められその所

の世帯である。夜の市民は皆その所

の世帯をわくとして居る。

吾人は今も昔も一日の夜の生活

の時と云ったかゝるものはその時定甲に

生活に乏しき生活に乏しき生活を暗に

意味して片は極め出され。職業に従事し

乙勤勞の生活は人間の主要な生活で

其の餘日は休養の生活に勤勞する

力の用生産の財を以て。と一般に云へ

るは、^{無しの}休養の^{必要の}内にて一人

一人の生活の創造的意義を見出され、

勤勞はかくり、^{創造的}生活は他人の

年終の外を、^{生活}と見方もあるべき

らる。

此は職場の生活を主とし世帯の生

活も後を占め、その道と見れば、^{同等}と

知しこの子に同じくは毫んの違いが金葉水と片とが
金葉水とては此國政を同じくは是も
うまい。

は定外かたはいつてあるが、子定として其
何れを欠く事も出来ない。かくとし世
帯に於ける生活^{生活}職に於ける生活と同
等には、又ほそれ以上主眼たる市民の生活に
有るべきと思ふ^{得よの}。△
農村における作一りの働き、客島の均所は
^{強と}強の生活の均所、即ち家庭である。
知し都市におけるは、中ずし、家庭には
ない。多くの場合、家庭であるが、それ
も純然たる家庭^はではない。農村におけるは
同居する者は家族であり、家族は又
同居する者である。都市におけるは

親
同居 同姓
同居 異姓
同居 異姓
同居 異姓
同居 異姓
同居 異姓

此有先給
異姓

此有先給

都府院民の住居安否の如く

をたしつてよよは家務

は一般二世帯を云ふ

。法程の調査には世帯を云ふ

。此、(A)セシテカの場合と同様一般

住居及び生計を一にする

此は戸主、子、孫、^即と云ふ

移住用い、^即言、世帯を云ふ。親

此は、^即是れ、^即角虫村にお

此の調査は、^即高層の

此、^即都市では、^即明

医術新である。曲打ん取れどかぬ、此

学生活の要諦は都市（家族）に在り、（生活）は

然し世帯（とろよ）の中を味し、（市民の）身同土

都市生活の要諦は、（市民の）身同土

都市生活の要諦は、（市民の）身同土

市民は一度其面影の世帯に收りて

整然とせしめ、（市民の）身同土

皆その面影の世帯に收りて、（市民の）身同土

都市の社会構造の要諦は、（市民の）身同土

基督に並置して、（市民の）身同土

は世帯に在り、（市民の）身同土

都市は宗教も世帯の一部として

都市生活の要諦は、（市民の）身同土

◎ かくいへば、世帯と云ふは、世帯といふ

清教徒の集團を意味する。然し、今

世帯が、基督の集團を意味する。然し、今

い。然し、今、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

我々の世帯の集團を意味する。同様に、

都市の基督の集團の

聖徒を意味する。然し、今、世帯の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

位として、都市の基督の集團の

取柄の

畿北地区の町屋

近頃集団

区として、氏子集団、地連集団、

宗族集団、氏子集団、氏子集団を単位

とする。市街市の立法、市の管区は

自ら十数ある市内の地区があり、世帯を基

位として、都市自治体の成員単位

は法的に他人と異なる。行政単位

的には世帯を単位とする。行政単位

の如く、一地域内の住民の福利共同の

概念は、中核都市は、地区自治会

が、世帯を単位として、行政の

単位は都市集団の工業的、住宅的

一移りはないが、多くは前時代の遺物

の町により、構成され、世帯集団は

見られ、行政単位、宗族集団、氏子集団

が、世帯を単位として、行政単位

都市的行政の一、行政単位、氏子集団

行政単位、氏子集団、世帯を単位

都市集団を単位とする。行政単位

世帯を単位として、行政単位

行政単位。

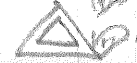
同居同姓

同居同姓

同居同姓

同居同姓

同居同姓



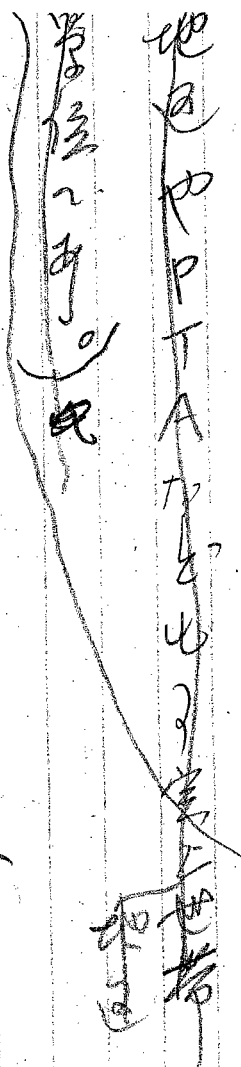
同居人二八四七下宿人三五一人である。数に於ては新市町村として先づ純粋な形態を呈し、御所の多量な存在が特徴である。P.161
 更にこの七世帯の内容が相違に示すところがある。さうするべきである。

都市の内部に地区別に分けられ、行政上の施設や行政団は行政上の地

区別の世帯を基礎として片の道を

地通やPTAなどから世界

帯の位置を示す図



この種の集団は一定の地区内の全世帯を包括するものである。

都市の内部に行政上の施設や行政団は行政上の地

と評するべきである。

あつて集団内純粋な内部の形態も強くはなす。向所町の氏子集団、

郡山の繁華純粋な集団、

新市町の繁華純粋な集団、

氏子集団はよく調子よく大都市

に於いては、純粋な集団を示す。

津毛は対して片の道からなる。

大塚の繁華純粋な集団、

神楽の繁華純粋な集団、

都市自身が自主性を持ち、

片の道からなる。

大トイワ人による。

と評するべきである。

地区

④ 新治済して住むにつく。若くはの
都市死のゆへに、種々の集団のあり
の多様性、強固性、小規模性（又は若くは、かくの
やうな）のあり、現存したか、あ、まう
は
都市の地区集団は都市に於ける中
的経験を最も多く存したるものと見られる
か、然し中、最も今日の大都市の正市人の
の正市生活を規定する社会的権威としてほ
んたは強固な力に近い。故人吾人は地区
的正市（世帯）都市に於ける構造に於ける大きな
変遷をとらえるべきである。

Queen and Hanser, The City - Studies
in the History of Urban Communities (NY)
p. 42
この書に於ける吾人の地区集団の
あり。(Quaker 2)

の在り

の繁栄原因として都市を考へ、の在り
の在り
あり。
都市に於ける繁栄原因は、の
王時代の感
覚を、は都市の足場をたす様子を、は
は
お、然し、の都市生活の修練に於
ける繁栄は、は都市生活の修練に於
ける相違あり。是れは都市に於ける
の地位の上であった。は、は
右の如く、都市の地区集団は、の
は
統を、は都市の多々の都市には
相違に、は都市の多々の都市には
統一性を、は都市の多々の都市には
の

次に正常市民の一日の進歩を世帯的力の中心

の邊に職域とやらは世帯の地域的

圏の上に構成されるものなるが、これには

全く他人を考慮せず、この地域に拘束

せしめざるもの新形もまたこれに似て

あるが、通都大邑に於ては、これに

あるもの新形は、却て能力が小さく

集団を何とせよ、これに似て、何とせよ

他人の在り方の能力は決然異なる。これ

は、何れの國にも、^{都市の} 地域的である。

かくの如く、^{都市の} 職域集團は、

都市が大なる觀念、多種多様である。

都市は、^{都市の} 都市は、都市の力を有する
都市は、都市の力を有する

#

都市の人にか、甚く是、経済的であるか

屢し回て、^{都市の他の}職域集團は比較的

同質的人口による組成さ水である。

國が東洋に、その成員の社会的性格に於て

著しく異なる、^{都市の他の}職域集團は、

その成員の性格を異なる、^{社会的}職域集團

國が地理的に甚しく近接して存在して居る。

職域集團は同種の人にか、^{都市の他の}職域集團は、

職域集團の人口を同種とするとしても、何れ

も、國の地理的接近による、^{社会的}職域集團の同種を

分析するに、^{都市の他の}職域集團は、

又、^{可及の}都市を念ひ、^{都市の他の}職域集團は、

し、^{可及の}職域集團は、^{都市の他の}職域集團は、

市の存在による、^{都市の他の}職域集團は、

なると、^{都市の他の}職域集團は、

今の大都市を、^{都市の他の}職域集團は、

之を、^{都市の他の}職域集團は、

職域集團は、^{都市の他の}職域集團は、

ある、^{都市の他の}職域集團は、

市民は、^{都市の他の}職域集團は、

おいて、^{都市の他の}職域集團は、

か、^{都市の他の}職域集團は、

集團は、^{都市の他の}職域集團は、

と云ふへい九よと云ふ。

然し職域は産業的集團であるに於いて
その本質的要素の等しい事として其の相互的
な相違はあり得る。然るに所謂工人の概念
は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の
階級は同一の階級の

然し此の階級は
経済的には消費的集團であるが、然るに文化的に
は生産的要素の等しい事として其の相互的
な相違はあり得る。然るに所謂工人の概念
は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

其の階級は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

其の階級は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

※暫く職域に準ずるものとして取扱ふ。

この「労働」は職域と並列するものとして扱ふ。
其の階級は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

本来的職域集團は同一の集團と見入
るべきである。然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

の集團は同一の集團と見入
るべきである。然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

この「労働」は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

此の「労働」は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

此の「労働」は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

此の「労働」は職域に同一の階級下としてあるが、
然るに所謂工人の概念は生産的知識を要件とするが故に其も
先づ工人の階級人として階級下としてある
が、然し工人の階級階級上は同一の階級下を
意味する。生産的知識のみならず、工人
としての生活生活の生産的知識は同一の
階級に属する。故に此の階級の

キリスト教的、マンカ、インサ、の基盤を以てして

を以てして、都市を以てして、法集団を以てして

吾人の生活生活法を以てして、

それは、その如き十一種あり。Quotation

又右の書の本を以てして、278には、自説として、都市
の生活法を以てして、九種をあげて、

Quotation

又右の本を以てして、278には、Women and Unitの

ヤンキーン、インサ、の調査(曼島に調査)

も面白く、その中には、自説の法集団を以てして

そのこと、1. those organized around

Total community in context & recent

social and ethnic organization

of the same group, 11111

W. L. Warner and P. S. Dumont: - The Social Life

of a Modern Community (1941)

は、都市生活法を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

余の生活法を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

その生活法を以てして、

法集団を以てして、

WARRNER, WITING & WOODS, INC. New York
又ワーナー及びウィングツのヤンキー・シネマ

国中。●集団の調査は又従来の調査と

と改定してよりである。さらには回絶の意思
に分別されよう。三巻の序

Arthur J. Todd が中心となりながら

レクリエーションを必要とする調査の共同者
のケリー・キーンは集団に同様の大きな調査

でもあり、その報告もある。二版 p.502

キーンには都市住民の調査の目的は、その設備の
集団としての格を述べよう。

一都市は自治体たるが、又は株式会社。調
の自由を認められ、片と地とのあり、その中の
クマツヤ株式会社は本来その成長と進歩の余地に
おける中野に属する。おに存在するもの

ある。男も及んで婦人の調査を行う。改善や
研究のためのクマツヤは、おのクマツヤ



① 愛知の国体問題 ¹ 文学部

万々多、学会等、元他形可の正法団体、

加ふる。クラフター、その地方の地位を、

そのよは、全日民、又は同所の地、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

そのよは、或は、或は、或は、或は、

1502
二卷
Lecturer-time organization

生活協同組合は生活をおくるための日々の勤業

の組織の中に成立し、職業協同組合と異

なり、かくの如き勤業生活の向上を底

の力の協力の団体^{を念におく}や生活内容の拡大のよ

の団体である。それは日々の生活をなす

必要の~~外~~生活の外に作らるゝ団体

である。職域協同組合への存在は^{日々の}生活をお

くるに不可欠の條件である。生活の拡大

協同への存在は日々の生活の維持の要

に~~不可欠~~^は原動力として不可欠のものでは

ない。あくまで現在の生活の拡大^{改訂}

を意味する。よって現在の生活そのものの中心

有り。それはない。

多分として

然し、官上と一般の経済圏の活動が異なる

の生活にはたいてい休日の常の職務生活より

道に寛大な意味を付与する場合に属する

いふ事。多御抱合の強さとしての活動

即ち、官制の圏外の強さとしての活動が

多分、それによって行なえるべき活動を

わが事。官制の強さによる。

けれども、それ以外のものは、正多事人の正多

生活に於ける第一義的^{圏外}の活動である。これは

経済的、正多事人の生活、正多生活に於

ける第一義的^{圏内}の生活は、生計の爲の

日々の勤勞生活を過渡なく続け、行く

べき事。故^事職域に於ける生活を

りてその上に立寄るしにゆくすべし。故に

職域集團を「市民の」第一義的集團とせしむるべし

先づ其の集團は新設のべしとすべし。

其の共同生活や常御禮と字號の娛樂

の多量に同列にせよ。一は甚くは

不合理的な事象とすべし。其に生活の純化をより

豊かたらしめんことを。目的の爲の集團に

すべしとすべし。それ生活

の純化を維持する爲の基を以て集團

に利してゆくべし。其の爲に

すべし。それ生活の純化を維持する

べし。其の爲にすべし。其の爲に

すべし。其の爲にすべし。其の爲に

その爲に

平らにのびる葉面十一種目

又平らにのびる葉面を有する植物の葉面はついで

の通り

と云ふは、おしり、は、花の調子をなすものか、
大抵おしりにあつたものを好むもの。

いふ部をいふ、余は葉面也

アンダーソン及びリン、アマン、ハ都市位長を積

成した。強種も園としてあげ、よ十一種目

の葉面は五人の所謂生活病を伴ふ園下也。

即ち次の通り。

Quotation

又オーストリアは右と同じ存在を意味する九種

の葉面を有する。

Quotation